

第72回応用物理学会春季学術講演会

12 有機分子・バイオエレクトロニクス 公開シンポジウム

ナノテクノロジーを駆使した バイオセンサーと2次元材料の最前線 ～ヒト感染性ウイルスを迅速に検出可能なグラフェン FETセンサーによるパンデミックのない社会の実現～

プログラム

13:30-13:35 オープニング	開催の趣旨説明 松本 和彦 (大阪大学)
13:35-13:45 御挨拶	田中 健一 (元三菱電機株式会社 技術統轄/JST未来創造事業「世界一の安全・安心社会の実現」領域運営統括)
13:45-14:15 基調講演①	「感染症対策に資する非増幅遺伝子検査法の開発 渡邊 力也 (理化学研究所)
14:15-14:45 一般講演	「集積化グラフェンFETアレイによるウイルス検出の高感度化(1), (2)」 松本 和彦 (大阪大学)
14:45-15:15 基調講演②	「ペプチドを用いた2次元材料表面のバイオ-ナノ界面制御とバイオセンシング」 早水 裕平 (東京工業大学)
15:15-15:45	休憩
15:45-16:15 基調講演③	「二次元物質のCVD成長と転写を通じた2.5次元物質科学の推進」 吾郷 浩樹 (九州大学)
16:15-16:30 一般講演	「?グラフェンFETアレイのラマン顕微鏡による評価」 牛場 翔太 (村田製作所)
16:30-16:45 一般講演	「酸化物薄膜トランジスタ型バイオセンサーの教師あり学習による核酸検出判定」 廣瀬 大亮 (北陸先端大学)
16:45-17:15 招待講演①	「グラフェンFETセンサの社会実装に向けたシナリオ」 木村 雅彦 (村田製作所)
17:15 閉会の辞	松本 和彦 (大阪大学)



田中 健一



松本 和彦



渡邊 力也



早水 裕平



吾郷 浩樹



木村 雅彦

日時

令和 7年 3月14日(金) 13:30～17:15

会場

東京理科大学 野田キャンパス (千葉県野田市)

主催

応用物理学会、 科学技術振興機構



※なお、シンポジウム内容や登壇者は変更する場合があります。
当シンポジウムに関するお問い合わせは、
下記Eメールまで直接ご連絡ください。
・お問い合わせメールアドレス
nigs-staff2@sanken.osaka-u.ac.jp
(%を@に変えてください)

